



## 安道よし子の一般質問

# 教員の残業が過労死ライン超え

全日本教職員組合の「勤務実態調査(2012年)」によると、月平均時間外勤務は72時間56分。持ち帰り仕事も含めた合計残業時間は、月平均95時間にも。厚労省が示す、時間外労働の「過労死ライン」は、月平均80時間。多くの教員が過労死ラインを超えています。

### 教員の残業は自主的なものと答弁

私が入間市の現状について質すと、教育長は入間でもほぼ同様だが、時間外勤務は、「修学旅行や職員会議の延長などに限定されており、日常の時間外は、教員の自主的な勤務で強制ではない。使命感である」と無責任な姿勢に終始し、



「時間外勤務手当は、月1万2千〜3千円の教員調整手当で対応している」と答えました。

### 教員定数増と調整手当の改善を

私が、「教員調整手当と時間外勤務には大きな乖離がある。残業時間に対応した手当に改善されるべき」と質すと、教育長は教員も他の職業同様、厳しい状況にあると答え、根本に、調整手当と教員定数不足の問題があることを認めました。国に調整手当と教員定数の増員を強く求めるべきです。

私が、国への要請と共に、市独自の対策も必要と質すと、教育長は「事務の軽減に努力している。子ども未来事業の発達障がい児支援などで、負担軽減を図っている」と答えました。

### 少人数学級の実現で行き届く教育を

私は、子どもたち一人ひとりに行き届く教育のために少人数学級の実現についても質問しました。

国・県施策により現在、小学1・2年は35人学級で中学1年が37人学級です。私が、「小学3年生から段階的に35人学級を実施しては」と求めると、教育長は「3年生のみで2400万円。

小・中全学年で1億7千万円が必要。教育効果は十分に認識しているが、現状では厳しい。国が実施すべき課題である」と消極的な答弁でした。

県内では、志木市、蕨市、川越市など11自治体が独自に実施しています。入間市も段階的にでも実施すべきです。



いつもはつらつ

# 安道よし子の市議会通信

No. 32

2014年 1月号



日本共産党市議会議員

新しい年を迎えいかがお過ごしでしょうか。昨年は、大変お世話になりました。今年も期待に応えられるよう、みなさんの願いを市政に届け、住民本位のまちづくりに力を尽くします。本年もどうぞよろしくお願いたします。

今議会では、教育問題と難聴者支援について一般質問しました。ご意見、ご指導をよろしくお願いいたします。



## 磁気ループで「聴こえ」の支援を

難聴者の人口は、全国で約600万人と推計され、実際には2000万人に及ぶとみられています。なかでも70歳以上の高齢者のおよそ半数は加齢性の難聴と推計され、高齢化が進むなか、今後、更に増えていくことは確実です。

「磁気ループ」とは、集団の中で「聴こえ」を効果的に支援する装置で、聴覚に障がいがあり補聴器を利用している方が、周囲



の騒音に邪魔されずに、目的の声だけを聴き取ることができます。

### 楽しく元気に社会参加を

私は、公共施設への「磁気ループ」の整備を市長に求めました。

高齢化社会を楽しく元気に、社会参加できるよう「聴こえ」を支援することが望まれます。市長は、効果を調査検討中。当面、市役所の窓口に「助聴器」の活用を検討していると答えました。

### みなさんの声を届け頑張ります

安道よし子の連絡先 どんなことでもお気軽にどうぞ  
電話・Fax 04(2962)8082 携帯 090(4811)0553

狭山保健所横から国道16号へ

第4回定例議会

# 待望の馬頭坂線が開通

12月19日、入間市役所から稲荷山公園駅に向かう学園通り線の狭山保健所横から黒須団地付近の国道16号につながる馬頭坂線が開通しました。

として期待できます。

化は、教会の移動等の工事は進んでいますが、3年後の平成29年春になる見込みです。積極的に前倒しで取り組んでいくべきです。

## 駅前広場への接続などが課題

この馬頭坂線から入間市駅前南口広場に接続する道路は、市議会の基地対策特別委員会で積極的に論議し要望していますが、基地跡地掘下げが「計画案作り」の段階であり、見通しが立っていません。基地跡地の道路用地や駅前広場拡張用地は国が無償で払い下げるなどの条件を生かし、積極的な姿勢の取り組みが必要です。

また、国道16号河原町付近の4車線



国道16号へ通じる馬頭坂線

## 川越・狭山方面の交通が改善

ジョンソン基地跡地内に縦貫道路（学園通り線）が完成後、入間市駅北口の区画整理事業とともに20年以上前に計画されました。毎日の渋滞情報で指摘されている河原町交差点を利用しなくても川越方面からの帰路が可能となり、稲荷山公園駅付近の渋滞を避けられる新しい道路

## 24年度決算に反対

12月議会初日に24年度決算の討論・採決が行われました。日本共産党は、一般会計の行財政改革長期プランに基づく職員削減や公共施設使用料の見直し・運営の委託化検討、消防広域化準備などが、厳しい市民生活を守る決算になっていないとして反対しました。

特別会計では、資格証明書の発行を続けている国民健康保険、高齢者に負担を強いる後期高齢者医療、介護保険、狭山台土地区画整理事業の4特別会計に反対しました。

## 上・下水道料金の消費税8%に増税

4月実施の消費税5%から8%への増税に合わせて下水道使用料と水道料金等の消費税を8%に引き上げる条例が共産党以外の賛成で可決しました。

上・下水道は、隔月に検針をおこなっており、不公平が生じるため6月から8%の税率を適用するものです。

上・下水道への消費税増税は、生計費非課税の近代税制の原則に逆行するものです。また、飲食業など水を多く使う事業者をさらに苦しめます。

1997年に消費税が3%から5%になってから、それまで緩やかに上がっていた賃金が一気に下降に向い、その後の15年間で70万円も下がってしまいました。入間市民の平均所得も平成20年から24年の4年間で年間43万円も下がりました。

消費税は、所得が低ければ低いほど負担が重くなる不公平税制です。

日本共産党は、4月からの消費税増税の中止を求める立場から、この議案に反対しました。

## 予算要望書を市に提出



2014年度予算作成にあたり共産党入間市委員会・市議団は、市民の声をとりまとめた予算要望書を市長に手渡しました。

市民生活を守る最後の砦である地方自治体として、住民の生活と福祉の向上を図る施策が必要です。要望書では住宅リフォーム助成、学校へのエアコン設置、特養ホーム増設、若者の就労対策など約80項目を要望しています。

## 共産党議員の一般質問

吉沢かつら議員

市民税・国保税の減免制度の拡充を  
安道よし子議員

行き届いた教育へ・難聴者の支援を  
小出わたる議員

消費増税・秘密保護法反対、通学路

石田よしお議員

介護保険制度・不老川大橋側道橋設置

## 日本共産党市議会報告

2014年1月 発行/日本共産党入間市議団  
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお 2964-4048 070(5086)2075  
安道よし子 2962-8082 090(4811)0553  
吉沢かつら 2964-0208 090(3514)3077  
小出わたる 2932-7884 090(6542)3883